

経営比較分析表（令和6年度決算）

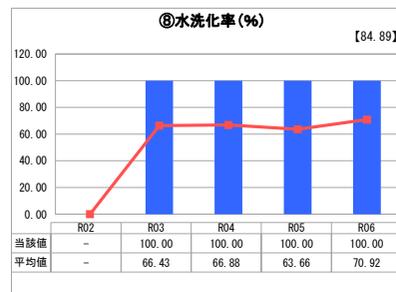
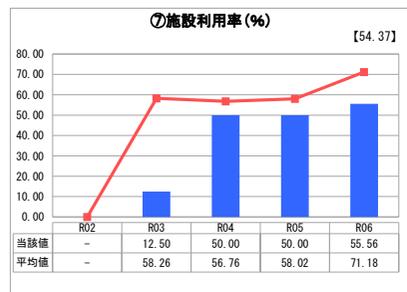
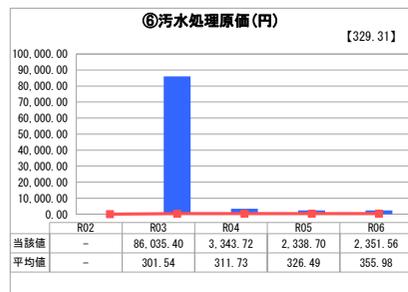
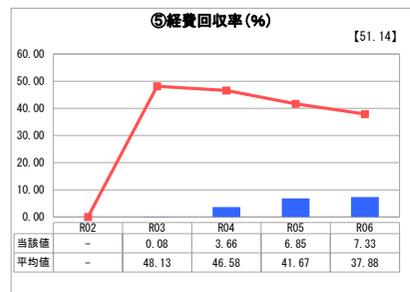
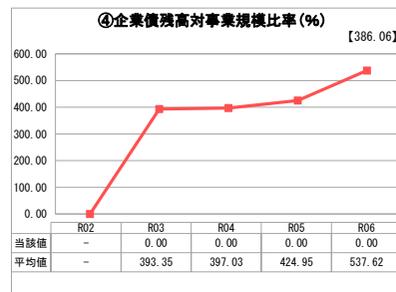
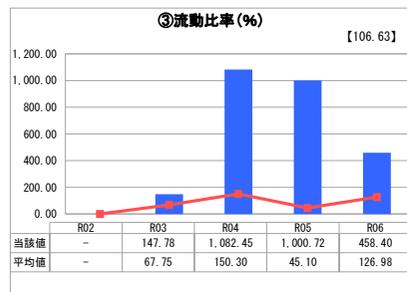
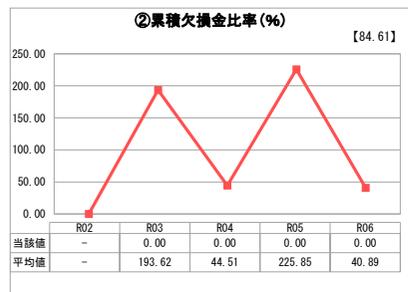
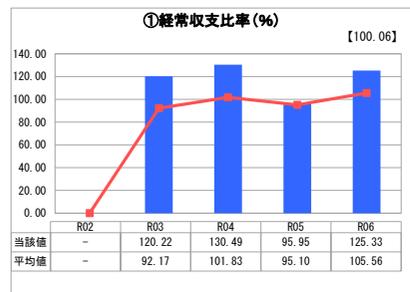
埼玉県 小川町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	特定地域生活排水処理	K3	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	90.79	0.12	100.00	3,300

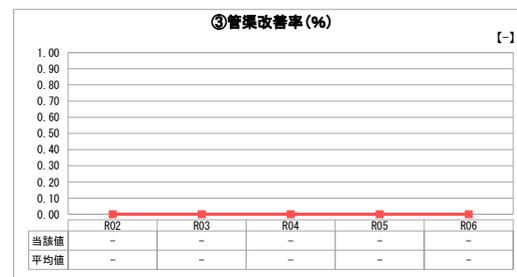
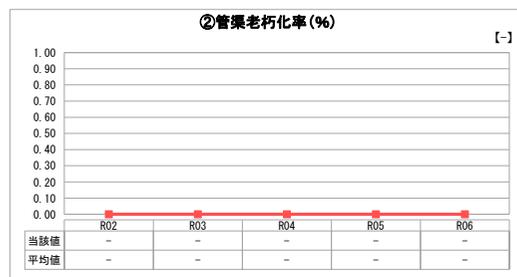
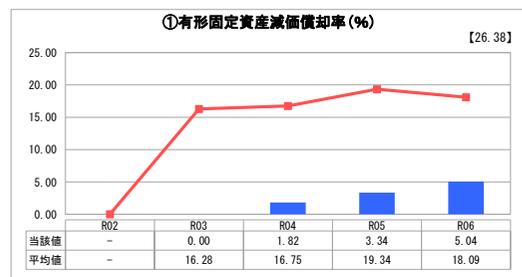
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
27,448	60.36	454.74
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
34	1.10	30.91

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率
100%は上回っているものの、実態は一般会計からの基準外繰入金に頼った経営となっている。

②累積欠損金比率
累積欠損金は発生していない。

③流動比率
類似団体平均よりも高くなっているが、事業開始間もなくで規模も小さいため数年間は大きく変動する見込み。

④企業債残高対事業規模比率
企業債は発行していない。

⑤経費回収率
事業開始間もないため使用料収入が少額となり低い水準となっているが、今後整備基数が増えるに従い改善されていく見込み。

⑥汚水処理原価
事業開始間もなく整備基数が少ないため、類似団体平均に比べ汚水処理原価が大きくなっているが、事業の進捗に伴い減少していく見込み。

⑦施設利用率
節水機器の普及などにより浄化槽処理能力に比べ処理水量が少なかったと推測される。

⑧水洗化率
類似団体平均を上回り100%となっている。今後も公共浄化槽の普及に努める。

2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率
事業開始間もないため、比率は低くなっている。

②管渠老朽化率
まだ法定耐用年数を超えた浄化槽はない。

③管渠改善率
更新時期を迎えた浄化槽がなく更新に対する投資は行っていない。

全体総括

令和3年度に開始した事業であり、整備した浄化槽が少なく使用料収入も少ないため、財源は基準外繰入金に頼ったものとなっている。
今後も公共浄化槽の普及により一層取り組み、使用料収入の増加を図り、経営健全化を進める。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。